

休校のため3学期終業式を実施することができません。

そこで、ホームページに講話を掲載することにしました。

第3学期終業式講話

令和2年3月17日

休校に続いて春休みに入りますが、それぞれのリズムで勉学や体調管理に工夫をしてもらっていることと思います。

令和元年度の終わりにあたって、一言、話をしておきます。

まず、今年度の前期大学入試結果について、ホームページに掲載しています。詳しくは新年度の始業式で発表する予定です。

62期生と担当してくださった先生方の努力に対して「ご苦労様でした。」という言葉でねぎらいたいと思います。

63期以降の後輩の皆さんが、現役目標を達成するのだという強い気持ち、執念をもって、さらに頑張ってくれることを楽しみにしています。

大学入試の結果は、生徒の皆さんと担当する先生方の努力についてやってくるものであります。皆さんが、そして先生方が最も力を入れなければならないのは、何と言っても授業です。

何度も言いますが、「授業の場が教師と生徒の真剣勝負の場にならないければ、力が付くわけがない」のです。さらに、真剣勝負の場になるには、教員と生徒との信頼関係ができなければならないと加えて述べておきます。わたしは、常に受験は団体競技であると申し上げていますが、クラスの全生徒と先生方の両者がチームとして信頼関係を築き、合格という目標に向かって進むことができれば、一人ではなしえない力が、間違いなく発揮できるのです。

常々述べている「原因と結果の法則」を大切に考えていただきたい。

授業に対する要望があれば、授業評価に書いてある要望を先生方に遠慮なく直接伝えていただきたい。そのことが、きっと、先生方と生徒の皆さんの相互理解に役立つと確信しています。教師と生徒の信頼関係がないところに、良い教育など生まれるわけがありません。

そして、自分たちがやらねばならない、授業、宿題、自学自習、特に自学自習、つまり、主体的な学習をしっかりと実行していただきたいと皆さんにお願いしておきます。

さて、日本の教育の方法が大きく変わりつつあります。

昨年 12 月に文科省が打ち出した*「GIGA スクール構想」では、日本の小中学生それぞれに 1 台の端末をとという計画が進められています。これは日本が目指す*「Society 5.0」の計画の中で提唱された構想です。

ICT 機器を活用し、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を工夫し、さらに学力を伸ばす時代を迎えたのです。

Change & Challenge(変革と挑戦)の精神で頑張りましょう。

最後に、今年度の目標、「公共心の育成」の中で、日本の教育に欠けていると指摘される、「相手の立場になって物事を考える」人間になることができるよう、学校と家庭で、それぞれ徳性の教育をしっかりと身につけてください。

それでは、また 4 月から愛光の丘で、新入生と共に頑張りましょう。

*GIGA : Global and Innovation Gateway for All

*Society 5.0 : 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会